

## 今冬の電力需給状況について

平成 26 年 1 月 23 日  
関 西 広 域 連 合

関西電力(株)の資料(別添)によると、平成 25 年度冬の関西電力管内の電力需給状況は、以下のとおり。

**1 最大電力需要について**

- 節電要請期間中(12月2日～1月17日)における最大需要は、1月14日(火)18時台の2,360万kWで、同日の最大供給力2,634万kWに対し、電力使用率は89%となっている。
- 期間中、気温は平年に比べて低めに推移しているが、電力使用率は90%以下であり、電力需給は安定している。

**2 節電状況について**

- 節電要請期間中の節電の状況を、日々のピーク時間帯(9時台及び18時台)における需要と気温の関係から解析すると、平成 22 年度冬と比べて、9時台については平均で約7%(約160万kW)、18時台については平均で約6%(約130万kW)減少している。

《参考》 今冬の節電要請内容：昨年同様の着実な節電の実施

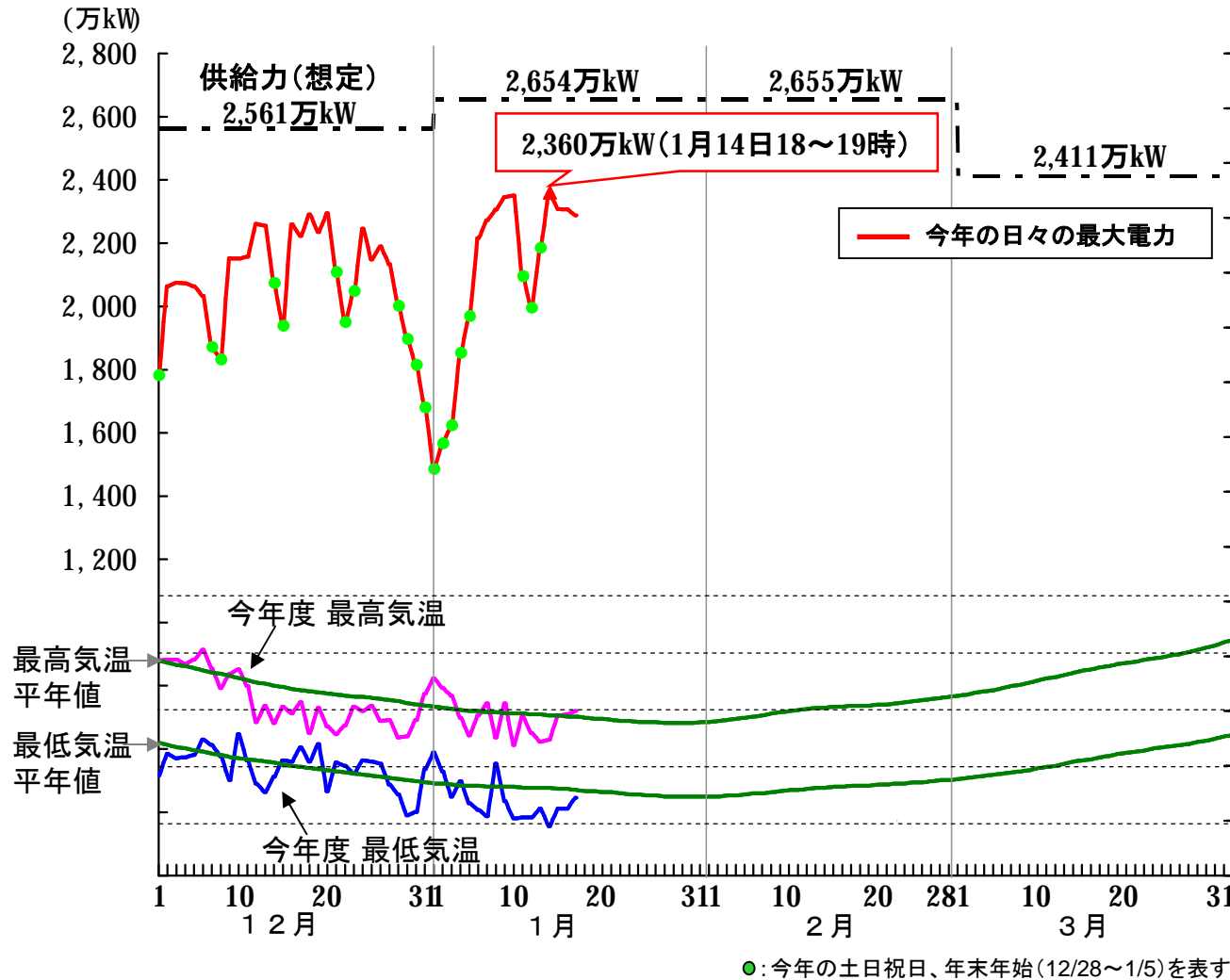
(昨年と同様に平成 22 年度冬と比べて6%削減を目安)

- 今冬の実績 : 平成 22 年度比 9時台 約7%(約160万kW)  
(12月2日～1月17日) 18時台 約6%(約130万kW)
- 昨冬の実績 : 平成 22 年度比 9時台 約6%(約150万kW)  
(12月1日～3月31日) 18時台 約6%(約150万kW)

引き続き、電力需給がひっ迫することのないよう、節電の取組について、府県民や事業者の皆様呼びかけていく。

- 〔主な取組〕
- ホームページ、広報紙、チラシ等による節電呼びかけ
  - 事業者、関係団体等への節電協力依頼
  - 府県市の率先取組(昼休みの消灯、暖房温度の19℃設定、長時間離席時のパソコンオフなど)
  - 電力需給ひっ迫時の対応準備

# 今冬の最大電力および気温の推移



◎気温※1(大阪) (°C)

H25年12月		平年差
平均	7.8	▲0.8
最高	11.0	▲1.3
最低	4.8	▲0.3

H26年1月上旬※2		平年差
平均	6.2	▲0.2
最高	9.9	▲0.1
最低	2.7	▲0.4

H26年1月中旬※3		平年差
平均	4.8	▲1.3
最高	8.8	▲0.8
最低	0.8	▲2.1

◎冬日(最低気温0°C未満) (日)

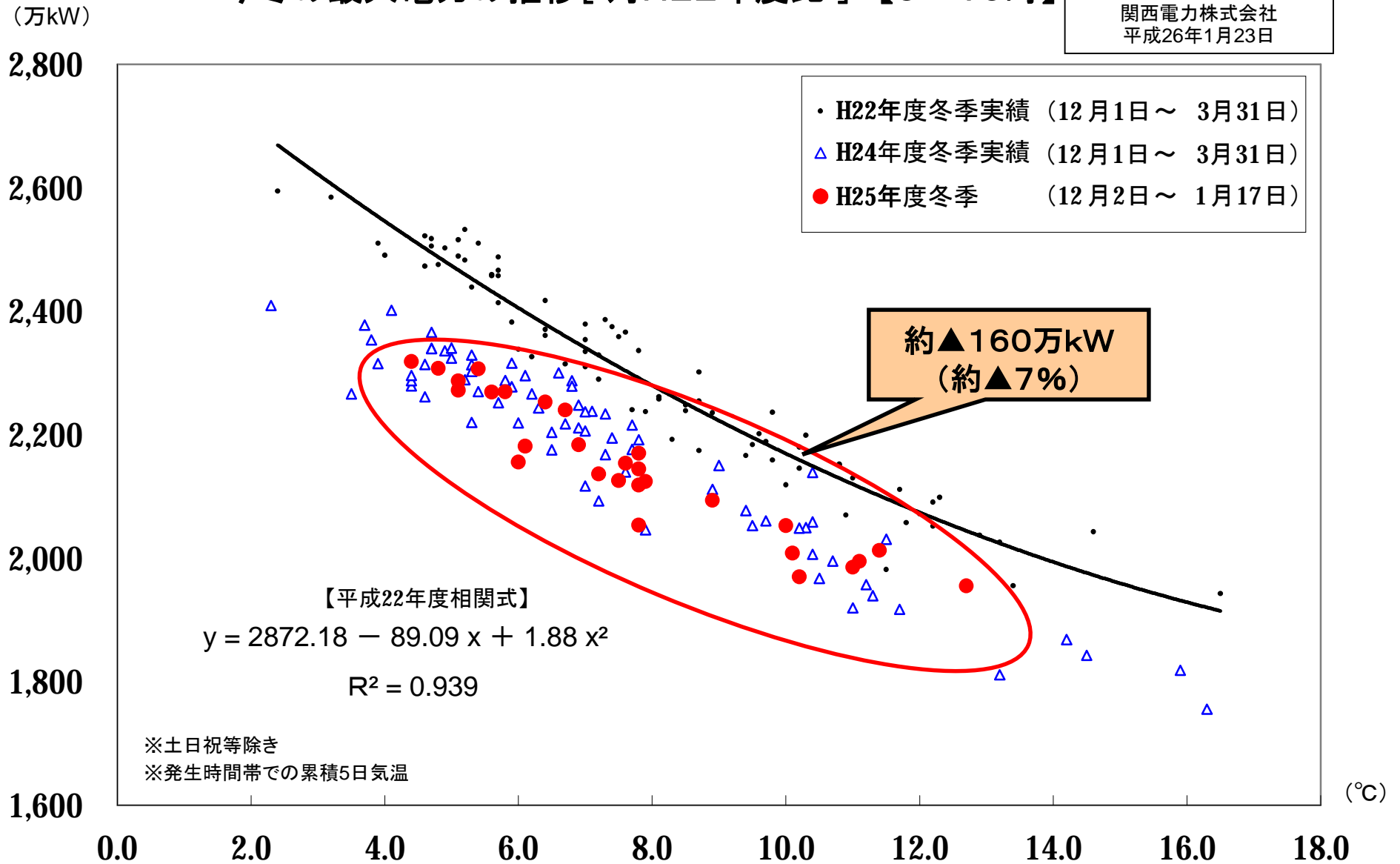
12月	1月上旬※2	1月中旬※3	1月下旬※4	計
0	0	1	-	1

※1: 気温は全て期間の平均値  
 ※2: 上旬は1日~10日の値  
 ※3: 中旬は11日~17日の値  
 ※4: 下旬は21日~月末の値

○今冬のこれまでの最大電力発生日は1月14日(火)18~19時の2,360万kWです。

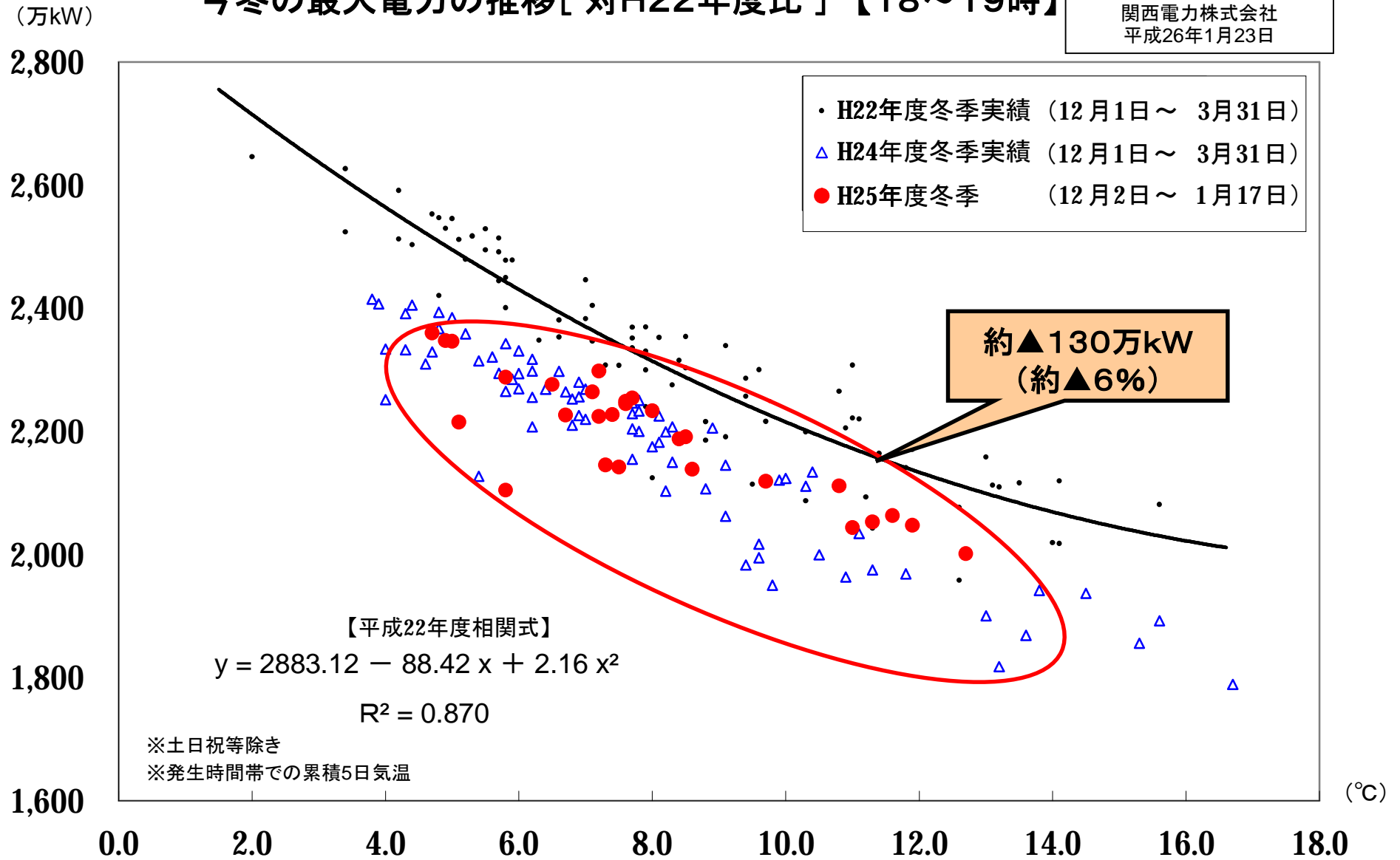
# 今冬の最大電力の推移[ 対H22年度比 ] 【9～10時】

関西広域連合委員会  
エネルギー検討会ご提出資料  
関西電力株式会社  
平成26年1月23日



○12/2から1/17までの実績では、H22年度と比べて、平均で約160万kW(約7%)減少しています。この中に節電効果が含まれているものと考えられます。

# 今冬の最大電力の推移[ 対H22年度比 ] 【18~19時】



○12/2から1/17までの実績では、H22年度と比べて、平均で約130万kW(約6%)減少しています。この中に節電効果が含まれているものと考えられます。

# 平成24年冬と今冬の節電の比較〔対H22年比〕

関西広域連合委員会  
エネルギー検討会ご提出資料  
関西電力株式会社  
平成26年1月23日

		H25年度 冬(今冬) [算定期間:12/2~1/17]		H24年度 冬 [算定期間:12/2~3/31]	
		減少量 上段:9時~10時 下段:18時~19時	減少率 上段:9時~10時 下段:18時~19時	減少量 上段:9時~10時 下段:18時~19時	減少率 上段:9時~10時 下段:18時~19時
節電効果(全体)		約160万kW	約 7 %	約150万kW	約 6 %
		約130万kW	約 6 %	約150万kW	約 6 %
(内訳)	家庭用	約 35万kW	約 6 %	約 30万kW	約 5 %
		約 35万kW	約 4 %	約 40万kW	約 5 %
	業務用	約 60万kW	約 7 %	約 50万kW	約 6 %
		約 55万kW	約 7 %	約 50万kW	約 6 %
	産業用	約 65万kW	約 7 %	約 70万kW	約 8 %
		約 40万kW	約 6 %	約 60万kW	約 8 %